

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【公開番号】特開2005-316263(P2005-316263A)

【公開日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【年通号数】公開・登録公報2005-044

【出願番号】特願2004-135860(P2004-135860)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/02 (2006.01)

F 1 6 C 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/02 1 0 1

F 1 6 C 13/00 A

F 1 6 C 13/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月11日(2007.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

母粒子表面に誘電率200以上の強誘電性粒子を被覆してなる複合粒子を含有する表層を有することを特徴とする帯電ローラ。

【請求項2】

前記母粒子が樹脂であることを特徴とする請求項1に記載の帯電ローラ。

【請求項3】

前記樹脂が、メタクリル酸メチル樹脂である請求項2に記載の帯電ローラ。

【請求項4】

前記強誘電性粒子がチタン酸ストロンチウム又はチタン酸バリウムであることを特徴とする請求項1乃至3の何れかに記載の帯電ローラ。

【請求項5】

前記帯電ローラがDC帯電に用いられるものであって、導電性支持体と、その外周に形成された導電性弾性体基層と、該導電性弾性体基層の外周に形成された表層とからなる請求項1乃至4のいずれか一項に記載の帯電ローラ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】帯電ローラ

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は帯電ローラに関する。本発明の帯電ローラは、主に電子写真装置などの画像形成装置に用いられる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、本発明における複合粒子は、母粒子の個数平均粒子径が $0.5\text{ }\mu\text{m}$ 以上 $30\text{ }\mu\text{m}$ 以下であり、かつ前記強誘電性粒子の個数平均粒子径が $0.01\text{ }\mu\text{m}$ 以上 $1\text{ }\mu\text{m}$ 以下であり、かつ母粒子の大きさを強誘電性粒子に比べて約10倍から20倍の範囲に設定する。